

第8回 杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第8回杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和5年1月23日（月）午後1時32分～3時43分
場 所	神明中学校 体育館
出 席 者	懇談会委員 21名（欠席7名）
傍 聴 者	4名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 第7回懇談会の主な意見等について 3 平面図案について 4 改築基本設計まとめ案・工事工程について 5 事務局からの連絡事項
資 料	<p>資料1 第7回懇談会の主な意見等</p> <p>資料2－1～2 平面図案</p> <p>資料3 杉並区立神明中学校改築基本設計まとめ（案）</p> <p>資料4－1～2 神明中改築における普通教室の規模について</p>

進行役	<p>こんにちは。1時半になりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>まず初めに、今日は寒いですので、防寒着は着たままでということできたいと思いますので、どうぞ着たままで大丈夫ですので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>6名からご欠席という連絡を受けています。また、傍聴者は現在4名です。</p> <p>会議の運営についてですが、傍聴者は発言ができませんのでご了承願います。</p> <p>今回も2時間を目安に進行できればと思います。進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、配付資料の確認を事務局からお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>資料を確認させていただきます。</p>

	<p>まず、第8回の懇談会の次第です。</p> <p>あと、事前送付させていただきました資料1「第7回懇談会の主な意見等」、同じく事前に配付させていただきました平面図案になります。</p> <p>本日、席上に配付させていただきました資料3から、横長のものなのですけれども、「杉並区立神明中学校改築基本設計（案）」です。</p> <p>続きまして、資料4-1「神明中改築における普通教室の規模について」というカラー、両面刷りのものが1枚。</p> <p>あと参考資料としまして、改築ニュース第3号を発行しましたので、席上に配付させていただきました。</p> <p>お手元にございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>それでは、次第の2番「第7回懇談会の主な意見等について」ということで、資料1について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>資料1をご説明させていただきます。</p> <p>前は、プールと平面図についてご議論、ご意見を頂いたところでございます。</p> <p>まずプールについては、教育委員会から整備をするということをお伝えした上でのご意見にはなるのですが、それを受けて「プールを整備するという教育委員会の方針は理解できるが、プールを作ることで費用が1～2億円かかるという重みを認識してほしい」というご意見や、「温水プールなら良いが、夏しか使えないプールは無駄だと思う。もう少し深い議論が必要ではないか」という意見です。</p> <p>あと「専門インストラクターが非常に効率よく水泳の授業をやっているのを見て、民間を活用しても良いと考えるようになった」というご意見。</p> <p>あと「数名の生徒に聞いたところ、学校にプールがあったほうがよいという意見」。</p> <p>「プールを作る場合、熱中症予防の日除けの問題や工事期間が長くなるということでの生徒への負担、校庭面積の確保などについて、工夫してほしい」というご意見。</p> <p>「学校のプールを水泳以外の用途で利用できるようにできないか検討してほしい」というご意見。</p> <p>「神明中の地域の学校力、教育力を高めていくためにプールが必要かという論点のほうが重要ではないか」というご意見。</p> <p>最後「プール整備とは別に、水泳の授業を充実させるためにどうい</p>

	<p>ことができるのかということは引き続き考えていかななくてはならない。そういう中で民間施設や学校以外の力の活用ということも考えていく必要があるのではないのか」というご意見がございました。</p> <p>平面図につきましては「物資の搬入・搬出というのは、防災倉庫に限らず、学校関係者の中でも行事等はアリーナで行うため、よりスムーズに行えるよう考える必要がある」というご意見。</p> <p>「体育館が半地下になるので、湿度や温度といった管理が大きな課題になってくる。空調の性能や使い方も検討してほしい」というご意見。</p> <p>「相談室以外にも個別に対応できる部屋が幾つかあればよりよい場所になる」というご意見。</p> <p>「校長室と職員室が隣になった点が良い」というご意見。</p> <p>「廊下部分を職員室に取り込むことによって、先生方が優れた良い環境の中で仕事ができることを目指したこのプランはとてよい」というご意見。</p> <p>「体育館が半地下になるが、2方向に逃げられる点が良い」というご意見。</p> <p>「神社への視界が開けるエントランスホールは、新しい神明中学のみんなが誇れる、みんなが愛着を持てるシンボリックな空間になる」のではないかというご意見等がございました。</p> <p>資料1については以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、資料1の説明についてご質問はございますか。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>資料1の2番の「夏しか使えないプールを使うのは無駄だと思う」、ちょっと意味がよく分からないので、「造るのは」だと思います。そこだけ訂正をお願いします。</p>
教育施設計画 担当係長	<p>ありがとうございます。これは後で訂正させていただきます。</p> <p>(「修正箇所がわからない」という声を受けて)</p> <p>「プールについて」の2の「温水プールなら良いが、夏しか使えないプールを使うのは」と書いてあるのを、「造るのは無駄だと思う」に修正してほしいということです。</p>
進行役	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>よろしいですか。ありがとうございます。</p> <p>それでは、次第3の平面図について、事務局から説明してください。</p>
教育施設計画	<p>それでは平面図の意見なのですけれども、平面図の説明の前に、資料</p>

<p>推進担当係長</p>	<p>4-1を併せてご用意ください。資料4-1、A4のカラー刷りのものがあるかと思しますので、お願いします。</p> <p>前回、第7回を終え、おおむね案がまとまったというところで、教育委員会やそれ以外の関係各所に報告いたしました。</p> <p>その中で改築規模につきまして、杉並区立学校施設整備計画に、12学級標準の場合、7,500平米を標準とするとあるのですが、神明中学校は8,000平米を超えている状況があります。この8,000平米も当初から比べますとすごく工夫をし、スケールダウンはしていったところなのですが、施設に過分なものがないのか精査するよう指示がございました。</p> <p>そういった中で、教育委員会内で改めて検討いたしまして、教育委員会内に学務課という生徒数や学級数の将来推計等をしている部署があるのですが、そちらから11月に出している最新のものがありませんので、改めて、そこを含めて見直しを行いました。</p> <p>そうしたことを踏まえてまず資料4についてご説明させていただきます。</p> <p>こちらの表は令和4年度から令和14年度にかけての各学年の生徒数や学級数の推移の予想です。令和4年度は実数ということになっております。</p> <p>現在、令和4年度は、生徒数277名で9学級ということで、当面、9学級というのが続く形で、令和11年度が10学級に一度なり、その後、令和12年以降も9学級になるという形になっております。</p> <p>こちらにつきましては裏面を御覧ください。後ろに、神明中学区域住民登録人数で令和4年4月1日現在のものがございます。こちらの推計は、この住民登録人数を基に、これまでの入学者数の実績ですとか、あと7号事由とあって特色のある学校ということで入ってくる方と、それ以外の事由の方などの出入り等を含めて、そういうのを総合的に加味して推計をする形になります。</p> <p>その中で、まずは基本となる住民登録の数というのが、現在3年生が156名、2年生が136名、1年生が133名になっております。</p> <p>今、神明中学校の区域につきましては、住民登録の人数の方の45%程度が入学されて、それ以外の事由と合わせると住民登録人数の大体65%程度で入学者が来ているということです。そういうのも続きまして、先ほどの表の面の数字を出しているところになります。</p> <p>こういった現在実際に登録されている方の数をベースに考えますと、今後10年間の神明中の生徒数はおおむね9学級で推移する見込みであ</p>
---------------	--

	<p>ること、新校舎運用開始が想定される令和9年度以降も9から10学級という形になります。</p> <p>令和15年度以降というのは、今の1歳とゼロ歳ということになりますけれども、学区域内の子どもは同程度ということで推移しております。</p> <p>また、今、4-2の下の表なのですが、杉並区年少人口の推移ということで、年少人口につきましては令和7年度をピークに減少をしていくという推計が出ているところでございます。</p> <p>こういったことを総合的に加味いたしまして、普通学級の規模は、これまで標準の12学級で整備を進めていたところなのですが、こちらを10学級規模で改築するという設計の変更をするということといたしたいと考えてございます。一時的に4学級が複数出る場合においても、多目的室等、普通教室に転用できる部屋がございますので、それによって対応が可能と考えてございます。</p> <p>最後に、普通教室といった必要な諸室は、当初、区から提案した内容であり、このようなほぼまとまった案の中で様々な検討がされ、変更になったということは非常に申し訳なく思っていますが、ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。</p> <p>まず学級規模の件については以上になります。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明について、ご質問などがありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>ご説明の数字は、子どもの数の変化なのですが、中学校というのは小学校から子どもが上がっていきますので、小学校の中で私立に移動される子どもさんも最近大変増えているということで、子どもの数はもちろん減るのですが、これよりも入学人口も増えてくる。今日は小学校の校長先生があまりいらっしゃっていないけれども、今現在、小学校の中で私立に行かれる子どもというのは、報道によるともう1年ぐらいから準備を始めないといけないという状態で、その辺の小学校から中学校に行くときの私立に流れていってしまう子どもを、どのくらい読まれているかということ伺いたしたいと思います。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>学務課である程度把握はしており、今回の推計については、そういった私立に行く子ども含めての推計となっております。</p> <p>記憶は若干曖昧なのですが、たしか令和3年度の東京都の数字</p>

	<p>だと、杉並区の平均では私立中学校に行く子というのは3割ぐらいです。私立に行く子というのは地域によって非常にばらつきがあるので、一概に何割ということが言えない状況です。</p> <p>ただ、学務課では、ある程度、私立に行く、公立に行くというのは把握した上での推計を出しています。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>あまりこだわってもいけないのですけれども、区の平均が3割とおっしゃられましたけれども、この辺りだと桃二、荻小、高四ぐらいになると思うのです。当然、生活の環境なんかもいろいろありますので。ここでの平均はどのぐらいですか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>私立に行く平均は私のほうでは把握していないのですけれども、先ほど申し上げたのは、この住民登録の数に対して、その地域の方が入る数が大体今45%前後で推移しております。この神明中学校の地域ということになります。ただ、それが全て私立ということではなくて、近くの公立中学校に行く場合もありますし、そういったことも含めての数字になります。</p>
委員	<p>45%というのは、卒業生のうち45%が区域の中学校に行かない。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>住基登録の、例えば100人いたら45人が神明中学校に平均して来ているということになります。</p>
委員	<p>予測なのであまりこだわってもいけないのですけれども、そんなことで、子どもの数の推移と神明中学校に上がってくる子どもの数、あるいは新校舎になりますので魅力があるということで子どもの数が増えるかもしれないということが、多分、区ではもちろん計算されていると思うのですけれども、そんなこともあるのかなというので予測がしにくいなと思いました。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>当初、そういったことも加味して考えていたところなのですが、資料4-2の右下に「杉並区学級編成基準」というのがございまして。中学校1年生は中1ギャップということもあり、35人学級を杉並区の場合は取ることができ、中2、中3は40人学級ということになっております。</p> <p>なので、今の制度上ですと、中2、中3の場合は120名を超える状況ですと4学級になるのですが、こちらの4-1を見ていただきますとそこまでの数字になることは可能性は低いというところで、4学級までは常時いかないのではないのかと考えているところです。</p> <p>仮にいったとしても、全ての学年が今の推計上では4学級になるとい</p>

	うことはないので、今、そのような状況でございます。
教育施設計画 推進担当係長	ほかはいかがでしょうか。 どうぞ。
委員	学級数が少ないままであるということは分かったのですが、学級数が少なくなったからといって、この屋上緑化みたいな屋外にしまるのはちょっともったいない気が。今までの案だとここは教室になっていたと思うのですが、学級数が減ったからといってお部屋数を減らしてしまうのはまたもったいないのかなと。この緑化の部分というのは、ほかの緑化のパーセンテージを埋めるためにここに緑化に移動したということでしょうか。
進行役	平面図に関しては、恐らくこの後提案があると思うのでそのときにまた発言していただいて。お願いいたします。 今は人数が減るとか、そのために 10 学級の予想であるとか、そのことに対する、今ご意見を。よろしくお願いいたします。
委員	分かりました。ありがとうございます。
委員	人数との関係なのですが、少人数授業の展開が今後、さらに大きくあり得るかなという感じもあるのです。今、おっしゃったとおり、教室があったところが屋上緑化になってしまっていますよね。その部分が 1 個消えた。そうすると少人数の授業を増やさなければいけなくなったときのスペースはどうやって持ってくるのかなと思うのです。 もちろん、丸々 1 教室を使って少人数をやる必要性はないと思うのですが、その辺の臨機応変に対応できる体制が敷けるのかなということ。 それから、今後 35 人学級が成立していった場合、本校の場合の学級数がどう変化していくか。40 人学級であれば 9 ないし 10 になるのでしょうか。単純に割ってみても、教室は足りてるのかな、なんてちょっと思いながら。少人数との兼ね合いも出てくるといろいろとブレーキがかかってくるかなと考えます。以上です。
教育施設計画 推進担当係長	まず 35 人学級になった場合ということについては、また資料 4 - 1 を御覧いただきたいのですが、4 学級になる場合は、ここで言う生徒数が 106 名になった場合、4 学級になるかと思えます。 現在この推計上ですと、今 3 学級なのに 4 学級になる可能性は、この令和 14 年度というところと、ゼロ歳のところに可能性がありますが、最大で今のところの推計では 11 学級かなと考えているところです。 その場合、多目的室を一旦普通教室に活用し、それ以外の数学科室や

	<p>英語科室はそのまま継続できます。</p> <p>それ以外に、この辺りは学校さんの運用にもなると思うのですが、例えば少し離れてはしまいますけれども、向かいの進路指導室であるとかそういったものを活用したり、そういった工夫をしていただければなど考えているところでございます。</p>
委員	<p>今、既存の教室を変更するという方向で取るわけですが、今、僕は学校の居場所をつくるという作業を各校でやってもらっているのです。この学校で居場所をつくるということは、これも大きな1教室の必要性があるかというところでもないのです。もうちょっと小さい教室でもいいやと思うのですけれども。</p> <p>つまり、既存の教育活動のほかに、プラスアルファ分がこれから増えてくる可能性があることが常に頭の中にあるのです。それをどこで収めていくか、どこで彼らに勉強させてあげるか、というところで、ある程度余裕を持った、例えば緑化のところの教室を半分に分けておいて少人数で使ったり、それからいろいろと子どもたちのバックアップのための居場所的なところで使ってあげたり。そういう教室内の余裕というのか、子どもたちが活動できる余裕というの、教室を確保することによってあげたいなと思うのです。</p> <p>緑化のところをテントを張ってそこでやるかといったら、それは可能でしょうけれども、あまり現実的ではないですね。屋根のあるところを確保してあげたいなというイメージを持っています。</p> <p>以上です。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>どういう形で部屋を使うかという部分もあるかと思うのですが、まず学級数としては一時的に11という状況がある可能性はございますが、基本線として9学級の場合であれば、現在、多目的室やそういった部屋をうまく使っていただければ、少人数、個別学習室みたいな形での使い方も可能ではないかと考えているところです。</p> <p>多目的スペースや少人数教室というのは、もちろん全ての部屋を私たちが用意できればいいなというところではありますが、施設規模が大きくなりますと建設費や維持管理費等も大きくなってしまいますので、弾力的な運用をしていただければと考えているところです。</p>
進行役	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>今、説明を聞きまして、資料4、データの取り方も非常に納得のいくもので、年少人口推移は減るけれども、この地域、神明中さんは若干生</p>

	<p>徒数が増えてクラス数が増える見込みというのは納得しました。実は先週出席させていただいた西宮では人口推移が減るのでそのまま減っていくということになっていまして、ちょっと異論を唱えさせていただいたのですけれども。</p> <p>ちょっと紹介しますと、実は松庵小は今の5年生、6年生は3クラスです。70名台ですね。4、3、2年生は2クラスで少なくなっていたのです。それが今年度の1年生は、80名で3クラスになって増えています。</p> <p>これが昨年明け、4月の入学の直前になって、1月、2月に急に十数名、外から問合せがあつて、その区域に行きたいので、ということで、場合によっては、一時外に住みますけれども中に必ず入りますのでお願いいたしますということで、学区外からもたくさん入ってきているのです。来年度も85名で、3クラスの予定です。ということで、生徒数がだんだん増えてきています。</p> <p>これは高四さんも、来年は1クラス、2クラス増えると聞いていまして、この地域内、結構人が増えてきています。子どもが増えてきています。もっと言いますと、結構松庵の地域は3階建ての低層の高級マンションが建ったり、ちょうど相続で広いお屋敷が壊されて4戸ぐらいの新築が建ったり、そういうことが結構増えていますので、3クラスぐらいで増えていくのかな、場合によっては4クラスになる可能性もあるのかなと見ているところです。</p> <p>そういう意味では、ここで見まして、この資料4-2のところ、そういう中で10学級、さらにそれ以上、11学級以上になった場合に、少人数教室を普通教室に容易に転用可能な仕様とするとなっているのですが、少人数教室は少人数教室で目的があると思いますし、こちらむしろ増えていくというか、スペースが必要になっていくのではないかと考えておりますので、そこは少人数教室は少人数教室でしっかりスペースを確保した上で、学級数が例えば11学級になっても対応が取れるようにしていただくのがいいかなと思いました。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>まず、小学校の児童数が増えているということは私たちも承知しております。</p> <p>中学校につきましては、この間、小学校の児童数がすごく増えている中でも、ある程度安定的な推移があるという部分もございます。</p>

	<p>少人数授業の教室の確保という部分については、11 学級程度でありましたら現在予定している数学科室や英語科室というのはそのまま活用できますし、あと、少人数授業のやり方については学校のほうで工夫して、例えば1 教室を半教室で使っていただくのか、そういった工夫で一時的に非常に数が増えた場合は、そういう活用の仕方も含めてご検討いただければと考えているところでございます。</p>
委員	<p>今、少人数とか教室の問題とか出ておりますが、このグラフを見たときに、令和 11 年、10 教室。これは1 年生が3 年生で卒業するまで10 クラスではないかなとか思ったのですが、数字を見ますと12 年度の2 年生が107 名で3 クラスになっているのですが、もちろんその次の年も同じ計算になっていますけれども、これはどういう意味でしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料4-2を御覧いただけますでしょうか。資料4-2の右下の「杉並区学級編成基準」というのがございまして、中1のときは、中1ギャップで35 人学級の編成にしているため、106 名以上いると4 学級になるため、107 名のときは4 学級になります。</p> <p>ただ、2 年生になると40 人学級での編成になりますので、そうすると1 クラス40 名になりますので、それで2 年生から3 学級になるということになります。</p>
進行役	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>入学数というのは暫定であって、そのときにならないと分からないので、今までの推移を考えると10 学級程度というのは分かります。ただ、この4-2に書いてあるように「普通教室が10 学級規模で改築」ということで、その下にある「少人数教室等を普通教室に容易に転用可能」というところがすごく引っ掛かりました。</p> <p>例えば人数が増えて、例えば11 学級になった年があるとしたら。そのときに、2 学年4 クラスずつある状態で、少人数教室を、教室を分けるとすると、2 学級を3 クラスに編成して数学ですとか英語ですとか授業をすることもあると思うのです。そうなったときに、使える部屋というのが足りなくなってくると思います。</p> <p>まだ平面図まで話が行っていないので、ここでお伝えするのは思いましたが、今、高四小の問題で、来年度に人数が増えるということで、実はPTA室も倉庫のような場所に今学期中に移動することが決まっています。本当に部屋がなくて、算数の少人数も家庭科室を使ったりと</p>

	<p>か、本当にある部屋をフルに活用してなんとかできないかと、現場は結構大変です。</p> <p>なので、もう少し、ここに書いてあるように「少人数教室等を普通教室に容易」に、というところはちょっと引っ掛かるので、そこはもう少し余裕があるように設計していただきたいなと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>それでは、教室の数を含めて、平面図までのご意見も多いので、設計事務所さんの説明も必要だとは思いますが、まず1番、整備課から説明があったこの生徒数の推移に関してはよろしいでしょうか。</p> <p>生徒が多くても11学級だろうという推移の下で、教室減築というか、せざるを得ないということなのですか、そこは大丈夫でしょうか。</p> <p>あとは平面図に関してどこまで工夫ができるかということだとは思いますが、</p> <p>司会なのですが、生徒数の推移なのですが、これ確かな情報ではないのですが、令和7年度から、小学校は全部35人学級になると思います。それを受けて、中学校も恐らく35人学級かなというところを考えて、資料4-1を見ると、106名以上は4学級になるので、多くても大体11学級かなという多分推移だとは思いますが。</p> <p>12になったらというところがあるのですが、多くても11かなというところで、このデータからいうと推移はしていくのかなというところは、学校の関係者としてはそういうことは思いますけれども、ただ、状況がどうなるかというところです。</p> <p>私立の進学者も結構いますので、その辺のところは、神明中の例えば新入生の数に関しては、割とこのデータどおりには行っています。データどおりに入学新入生は大体来ています。</p> <p>先ほどの中1ギャップなのですが、例えば今81名で3クラスなのですが、71名でも中1ギャップということで3クラスにしていいということなのです。2クラスでもいいのです、そこは。</p> <p>教員の人数が1人増えて、2年生になってどうせ2クラスなので、そのまま2クラスのままやってもいいというところもあるので、この制度的にはどう変わっていくか分からないのですが、人数の推移としては大体、今までの神明中の新入生から言うところのデータどおりではありません。</p> <p>ただ、これから35人学級とか、社会情勢で私立どうか、いろいろ</p>

	<p>なことがあるとどうなるかというところですが、大体こう推移しているということで、一応お伝えしておきます。</p> <p>新入生に関してですよ。住基人口とか、細かい私立受験とか、そういうのはまた別にしてですね。そういうところですので。</p> <p>それでは、生徒数と学級の推移ということは皆さんご理解していただいたということで、平面図に関してまた関係してくると思いますので、その辺のところはまたご意見を頂いてやっていければと思います。</p> <p>それでは、平面図について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
設計事務所	<p>本日、お手元の資料の平面図が2枚あると思うのですが、同じものを映し出していますので、お手元の資料を見ていただければと思います。今、教室数のお話がありましたので、まず1階に行く前に、2階、3階、4階の平面図を見ていただければと思います。</p> <p>まず3階と4階です。今オレンジ色で塗られている部分が教室になっています。</p> <p>3階については、こちら側が3教室。ここが緑地になったのは、4つだった教室を3つにしています。北側は4つの教室が並んでいます。4階は3つの教室と多目的室になっています。</p> <p>学年のまとめりとしては、こちら側の3クラス、4クラス、3クラスという形になっています。</p> <p>こちらについては、他学年の教室前を通らなくても、登下校や、特別教室・体育館に行ける計画となっています。</p> <p>こちら側の生徒は、こちら側に階段がありますので、昇降口からこの階段を上って各教室に行く。こちら側の生徒は、こちら側に階段がありますので、昇降口からこの階段を上って各教室に行く。4階は、どちらを使っても行けるという形で、他学年が混ざらないような計画になっています。</p> <p>先ほど、ここの資料では「少人数教室」という書き方、10教室の規模で、それ以上になった場合でも「少人数教室等を、普通教室に容易に転用可能な仕様」としています。このオレンジ色に塗られたところで10教室あり、生徒数が推計の一番多い数となっても、このオレンジ色の部分に子どもたちが入れます。それ以上、例えば、1学年4クラスとなった場合には、ここの北側に多目的室がありますので、そこを利用していただけると最大11クラスの教室ができる形になっています。人口推移を見ていただいても、10教室で収まる予想で、こちらについては予備的に使う教室になっています。</p>

	<p>そのほか、前回から変化しているところがありまして、元々ここ（2階の校庭側）にも多目的室があったのですが、こちら側（4階）に移したことで、以前多目的室のスペースであった場所をこの理科室に少し足して、教材庫を半スパン分造っています。</p> <p>また、数学室は上の4階になっています。音楽室と美術室は、1つは構造上の理由から、体育館棟は、地下を掘るので、RC造、今回は鉄骨とRCを組み合わせたSRC造というものになるのですが、そうするとつなぎ合わせる、渡り廊下のようなものが出てきてしまいますので、ここで一旦建物を分割します。もちろん、構造上は全部、雨がかりというか、雨がかからないように部屋の中で続いています、こちらのエリアとこちらのエリアは分割している形になっています。</p> <p>1階も少し変えている部分は、先ほど分割になってくるという部分に、少し広いスペースを取っています。地域の方の入り口を、以前は少し建物の下を潜ってくる形だったが、きちんとスペースを造って、入っていただいて、少しゆとりのあるスペースを取って、体育館と地域のエリアとして使っていただく。</p> <p>体育館の前に、ある程度面積を取っておかないと、一斉に子どもたちはここに来ますので、そういう意味も込めて、ここにゆとりを持たせるという形を取りました。</p> <p>また、ここにゆとりができた分、桜を新植しようと考えています。どうしてもこの改築で切らないといけない木が出てきますので、そういうものを利用しながら、このエリアを、地域と学校と一緒に、今までの神明の歴史ですとか、その辺と一緒につくっていけるような広場兼建物内部にも場所をつくっていかうという形をつくっています。ですので、新しい桜の木を植えて、地域と学校で共に育てていくという広場を1つ提案しております。</p> <p>そのほかは今回大きく変更しておりません。以上になります。</p>
進行役	<p>今、先ほどの説明で、減らした場合のということで資料2の説明がありましたけれども、ここで平面図についていろいろご質問等、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>先ほどのこの緑化の部分ですよね。</p>
設計事務所	<p>緑化については、元々この上も1教室分屋根でしたので、その分緑化があったのですが、そこがなくなって、その分を下に下ろしているという形ですので、緑化の面積をほかから持ってきたのではなく</p>

	て、単純にここにあったのを下ろしているだけという形になっています。
進行役	ご質問等、よろしくお願いいたします。 どうぞ。
委員	先ほど、例の屋上緑化の件が出たのですけれども、学校が新しくなると生徒が増えることは事実、ここら辺の学校は全部そんな感じですので、せっかくここにあるところ、お教室を造っておいたほうがいいような気がするのですけれども、いかがでしょうか。9クラスより10クラスを考えておいたほうが。よろしくお願いいたします。
進行役	よろしくお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	規模につきましては、大変申し訳ないのですけれども、先ほどの推計等から鑑みますと、10教室を整備するという形になります。その中で、どこの部屋をどこに持っていったほうがいいのかというのはご意見を頂きたいというところになります。 例えば、ここに何か普通教室になるような部屋を持つてくることはできないのかということで、それができるのかできないのかということについてはある程度お話しすることはできるかもしれないのですけれども、ここに1教室分増やしてくださいというのは難しいというのが正直なところでは。
委員	いろいろ皆さん方が意見を言われたのですけれども、10教室と決まっていることを言っているのか。今の話だと。増やす増やさないとか、決まっていることをいろいろ言ったってしょうがないと思うのですけれどもね。今の話だと、もう10教室ということを決めて協議しているわけですか。その辺が分からないんだけど、聞いていて。
教育施設計画 推進担当係長	教室数につきましては10教室で整備を進めるということになります。
委員	決まっていることを、我々は増やしてほしいと頼んでいるのか、もうこれ以上増やせないものを協議してもしょうがないと思うのです。その辺聞いていてよく分からないのだよね。
教育施設計画 推進担当係長	10教室ということで、あとはこの中の部屋の配置等で、例えばここが1か所切り欠いているのが、バランスがよくないということであれば、何かこの部屋をこちらへ持つてくるということではできないのかというようなご意見を頂ければと考えております。
学校整備担当 部長	ちょっと補足させていただきます。 前半のご質疑で、今後のこの神明中の生徒数について数字をもって説

	<p>明させていただいて、前半の最後で、校長先生からも、ほぼこういったグラフ、数字に基づいて進んでいるのでというお話を頂きました。</p> <p>教育委員会としても、この数字を基に教室の数を定めさせていただいて、数については10教室でやらせていただきたいというお話でございます。</p> <p>どこにどういう形の教室をとというのはこれからまた少し議論をさせていただきたいのですが、適正規模という形で学校をつくり上げていかなければならない。これは神明中だけの話ではありません。ちょうど今、同時並行でやっている西宮中もそうですし、これまでに作り上げてきた学校もそういう形でやってございます。</p> <p>一定の生徒数に基づいた教室の規模、数値、そういったものを前提に、ここは改築を進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>大変難しい問題で。もちろん、学校を建て替えるのに予算は限られているし、自治体の予算もかつてに比べると厳しい状況になっている中で、理にかなった考え方で、どういう規模で建て替えるかということを決めなければいけないのは当然だと思うのですが、前回のプールの話と今回の、妙に重なって聞こえてしまうのです。</p> <p>つまり、この中で4月からずっと皆さん熱心に討議されてきて、いろいろな段階で案が設計事務所から提示されて、何となく皆さんの合意ができてきている終盤の段階で、教育委員会の一存で何か引っ繰り返ってしまうという印象がどうしても残ってしまうので、その辺、もう少し早くからそういうことが検討されなければいけなかったのだらうと思うのですが、その辺の経緯をもうちょっと説明なさったほうがいいのではないかなと。皆さん腑に落ちないというか、納得できない面があると思うのですね。</p> <p>プールのお話も、外ですばらしい教育を受けてやるというのも1つ案だったし、学校の先生の負担が増えるのも大変だなという感じの中で話が進んでいて、だけれども総合的に考えると難しいということで、学校の中にプールを造ることになったのですけれども、その場合は本当に先生方の負担をできるだけ軽くするとか、インストラクターを採用するとか、そういう多分いろいろなことがこれから議論されると思うのですが、ここも、学校も切り詰めていかなければいけない、そうすると余裕がなくなってしまうという方向に行くので、何かもう少しちゃんとした議論というか。例えば、多目的室というのは日常、ふだんどう使っ</p>

	<p>ていらっしゃるのか、あるいはそれと対等な、あるいは居場所をつくるということが、もし余裕があればそれは望ましいと思うのですが、その場合どんな感じになり得るのかとか、切り詰めなければいけない、予算は削減しなければいけないという中で、教育委員会から言われてしまったからそれに従わざるを得ないというのはちょっと寂しいなという気が、私の立場からしても感じてしまうのですが。</p>
進行役	どうぞ、お願いいたします。
学校整備担当部長	<p>今、ご指摘を頂きました。そういった意味で申し上げますと、私どもで出す資料ですとか、お話の出し方、少し後手に回ったかなという印象がございまして、ここは私としても深く反省をしているところでございます。</p> <p>まず、数の話につきましては、毎年2回、将来的な推計も含めて、学務課というところから、この神明中だけではなくて杉並全体の、小学校でいえば児童数、中学校でいえば生徒数の推移を出してございます。</p> <p>今年度でいうと、昨年6月に1回出しました。そのときに、この神明中のクラス数に関しては、おおむね将来的にも10クラスだろうというのが出ていました。この段階で、まずは規模としても10クラス以上という推測ができたわけですが、昨年の11月ですが、その推計を待つことにしました。11月に出した推計でも同じ、将来的には10クラスの規模でした。</p> <p>もう一度、様々な要因ですとかそういったことを私どもとしても分析をして、先ほどほかの委員の方からも出た私立への移行の数だとか、あるいはまた、新しい学校ができたときに少し増えるよね、そういった傾向だとか、そういったことも分析をした上で、ここは10クラスだろうということで、今回、皆様方に資料4-1、資料4-2でご説明したところでございます。</p> <p>この間、ともすると昨年度は12クラスという形で少し絵を見ていただいたということからすると、若干後手に回っているなというところ、ここは私どもも大いに反省をしているところでございます。</p> <p>ただ、先ほどから申し上げており、一定規模、当然、学校の運営ですから、様々な諸室を学校に使っていただきやすいように、そういったことは当然考えていくわけですが、一方で改築に伴う経費ですとか、あるいはまたこれから運用していくための学校予算、そういったものも考えなければいけません。</p> <p>そういった中で適正規模を冒頭資料4に基づいて説明させていただ</p>

	<p>いた上で、こういった結果となるということでございます。</p> <p>いずれにしても多目的室ですとか、あるいは少人数教室、そういったものはしっかりと学校の立場に立って確保させていただきたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。</p> <p>それから前段のプールにつきましては、前回の会議で様々、皆様方にも民間のプールも見ていただいて、いかがかというお話をさせていただきました。</p> <p>この間も、済美教育センターをはじめとして、学校で体育授業に関わる先生方と逐一話をして、特にこの中学の場合にプールの授業を外注したときにどういう課題があるのかということ、様々、先生方からもお話を聞き、時間割の編成ですとか、あるいはまた先生方の働き方改革に関する問題、そういったことも含めて、特にこの中学校でのプールの外注、これがなかなか難しいということで、教育委員会の中で、教育長にも判断をさせていただいて、前回、この神明中に関してプールを造ることにさせていただきました。</p> <p>この間、皆様方にプールを見ていただいたその段階で、我々教育委員会の側でも今こういったことを議論しているよというのをもっともっと披瀝をして、皆様方の検討の素材にさせていただきたかったという、そういったプールのほうも反省がございませう。</p> <p>そういった意味で、少し説明が、プールにしてもこの改築規模にしても、私どもの資料の出し方、話の仕方が少し後手に回ったかなということは改めておわびを申し上げます。</p> <p>私からは以上です。</p>
進行役	<p>いかがでしょうか。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>これは校長先生に伺ったほうがよろしいのでしょうか。多目的室の現在の使い方と、使用頻度はどのぐらいなのでしょう。</p>
進行役	<p>今の校舎の多目的室は、昔、コンピューター室と言われている教室、今タブレットになりましたので、この部屋を有効活用しようということで、多目的室ということで使っています。</p> <p>どういう使い方をしているかという、今、コロナですので、その部屋から朝礼、始業式、終業式、私もそこに行きまして、始業式の挨拶ということで、そこから発信している。これが1つです。</p> <p>あと、少し広いので、委員会とか中央委員会とか、いろいろな委員会活動での使い方、あるいは学年で、例えば行事とかいろいろなところで、</p>

	<p>実行委員会とかいろいろなことを含めて、教室はふだん使っていますので、それ以外で使えるとか、あるいは生徒会で使うとか、もちろん授業中でもそこでテーブルが話しやすいようになっていますので、そこへ行って使ったりとか、ただ置いておくだけではなくて、学校独自でいろいろな工夫をしながら使っていると、そういうところですかね。</p>
委員	<p>そうしますと、仮に 11 学級対応で多目的室を普通教室に使うといった場合でも、それ以外の 1 階の会議室等で委員会をやったりということでは対応はできるということになりますね。</p> <p>そうしましたら納得しました。</p> <p>それでいきますと、前回私、小学校の学校運営協議会で欠席になってしまったのですが、今回資料を拝見して、資料 2-1、2-2 共に、吹き出しの部分で、ユニットごとの仕切りとか図書館の配置ですとか、非常に練り込まれていまして、子どもたちのことを考えて設計されているなども感じました。よくできているなと感じました。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>私からは普通教室の配置について、保護者の方、それから子どもたちの意見をお伝えさせていただきたいと思うのです。</p> <p>学年ごとにフロアを分けてほしいというのが出ています。つまり、この 4 階が 1 学年で、3 階が 2 学年になってしまっていて、この真ん中のユニットでということでご説明いただいてよく分かっているのですが、同じフロアになってしまうのが、保護者と子どもが、これはいかなものかということで、この 2 階の校庭側の理科室、理科準備室、理科室というここの特別教室とこの 3 階の 1 学年、3 階の神社側の普通教室を入れ替えるのはどうかという意見が出ました。</p> <p>この 3 階のオレンジ色の学年なのですけれども、この子たちが 1 階の職員室に、子ども職員室にはよく行くと思うのですけれども、職員室に行くときに、1 階の北側からは職員室には入れないということで前回説明があったと思うのです。</p> <p>そうすると、この子たちが職員室に行こうと思ったら、1 回 2 階に下りて、2 階の特別教室の廊下を通過して、その先の階段を下りて職員室に行くという行き方しかないのかなと思いますので、もちろん行けないことはないのですけれども、ちょっと不便な感じがするかなということと、この 3 階の神社側の普通教室は日当たりとかがどうなのかなというのがありまして、できたらどの学年も校庭のほうを見られるようにした</p>

	<p>らいいのではないかという考えです。</p> <p>2階の特別室が、どうしても同じフロアにないといけないという理由がないのであれば入れ替えも可能なのではないかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>よろしいですか。今の。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>別の観点なのですけれども、10クラスを前提に11教室、要するにマイナス1余りますから、3か4で入れ替わったとしてもカバーはできるような気もするのですね。</p> <p>ただ、それは子どもを教室の中に入れるという視点でいけばそうです。けれども、子どもたちの活動をどうするのかといった視点からすると、ただ教室数だけそろっていれば、収まればいいというわけではなくて、例えば特別活動をやっていたり、それこそさっき出てきた多目的で何しているのかといったときに、さっきのはどちらかという、朝礼とか大人の側もひっくるめた活動ですよ。けれども純粋に子どもたちの活動を、あるいは学年の活動をここでやろうよというときに、果たしてそれができるか。</p> <p>それを、極端なことを言うと、各学年1教室ずつスペースがあると、よくよその学校なんかでは、廊下の広いスペースを使ってそこで活動させているようですけれども、オープンな教室とクローズになっている教室はちょっとイメージが違うと思うのです。</p> <p>ですから、各学年に1教室そういうスペースを造っておくということも、つまり3教室あってもいいのではないかと。</p> <p>となると、もう1教室足りなくなると思うのです。つまり、多目的室は1個生きています。それ以外にも、転用可能な教室が2つあります。1つか。だから、合計してもう1つ造っておくとプラスアルファで造れば3つになりますから動きが取りやすくなるかなと思います。</p> <p>それから、これは子どもたちの生活関係で関連することなのですけれども、今、1階の話をしていないので置いておかないといけないかと思うのですけれども、新しくそのスペース、広場ができるというのはすごくいいと思うのです。</p> <p>ということでスペースが1個できるということはどこがなくなってしまうのかなと追いかけてみたら、生徒更衣室がなくなってしまうのですね、これ。</p>

	<p>生徒更衣室は、例えば、今度は生徒棟の中に造るほうがいいのか、この辺なんかも出てくるかなと思うのです。その辺のところもご説明いただければと思います。以上です。</p>
進行役	<p>よろしいでしょうか。</p>
設計事務所	<p>まず1点目、各学年に1フロアずつというお話ですが、我々、幾つか学校を設計させていただいており、居場所を、今、学校をつくる上で重視して考えております。</p> <p>そのときに、教室だけが子どもたちの居場所なのかというと、廊下も含めて、子どもたちの居場所。教室の中に、正直、長時間いたくない子もいると思います。そういう子どもたちに、逃げ場と言うとあれですけども、居場所をつくってあげるとするのが大切だと思っています。</p> <p>各学年を1フロアずつに分けてしまうと、2階と3階は教室の反対側が特別教室になります。そうすると、例えば2階に1年生が入って、教室にいれない子は、目の前が特別教室なので、他学年が入ってくることを考えると、行く場所がない、学年ごとのエリアはきちんとつくってあげたほうが子どもたちにとっても私はいいのかなと、思っています。</p> <p>確かに職員室へのルートですとか、なかなか解けない部分もありますけれども、「学年ユニット」という言い方を我々はしているのですけれども、各学年が落ち着いて過ごせる場所が教室とその周りにきちんとあるというのを今回は目指してつくってあげたいと考えています。</p> <p>そのため、今回、3階には2学年入る形ですが、その前の廊下も広く取ってあげてことを考えています。集中的に少しそこにぐっと収まるのですけれども、普通の廊下が4階の廊下であれば、その倍近い幅がありますので、例えば、子どもたちがほかのクラスの子とおしゃべりをしたり、もっと言えば学習の展開としても、この場所というのは使えるのかなと。</p> <p>また、学校様からのご意見の中で、学年ごとの特色を何かつくりたいと。学年がきちっとまとまっている、学年で何か飾りつけたり、学習のテーマをつくれるような空間が欲しいというお話がありましたので、それも含めてこのプランでは現実的になってくるのかなと思い、こういうプランを計画しております。</p> <p>あと生徒更衣室ですけども、もともと1階にありましたけれども、中間階の2階の一番北側に下ろしております。3階と4階はそれぞれの学年の専用の部屋があり、2階は全学年が使える部屋と位置づけをしています。その中心に図書室と、ラーニングコモンズと言われている学習</p>

	<p>の場がある。そのエリアに更衣室も持ってきて、体育の時間、外に行く途中、または体育館に行く途中にあるというところで、今回この位置を設定させていただいております。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>今の話で、動線を伺いたいのですけれども、今言っていたオレンジの部分の4教室の生徒たちは、昇降口を入れて、まず近いところの階段を上がって、2階の特別教室を突き抜けてから、奥の北側の階段を上がって自分たちの教室に行くということでしょうか。</p>
設計事務所	<p>そうです。</p>
委員	<p>そうですね。ちょっと遠回り。</p>
設計事務所	<p>3階の奥の4つの教室の方は少し距離がありますが、運用で、2階をみんなの共用のエリア、そこから分かれて各学年の専用のエリアに行くというイメージです。</p> <p>避難に関しても、当然避難のときはどこからでもいいのですけれども、ここの4教室の子どもたちは確実にいつも使っている階段から真っ直ぐ下りて、職員室のほうに行かなければすぐ外に出ていけますので、1か所に集中しないでも確実に逃げられるということイメージして作っています。</p>
委員	<p>分かりました。そこが1個気になったところと、あとその桜の広場というのは、敷地内にある形ですか。塀の中なのか、道路に沿ったところにあるのか。</p>
設計事務所	<p>そこは、まだ具体的に決めていないのですけれども、歩道の延長線上として、ここを歩く方々も、桜を感じられるようなエリアにしたいなと思っています。セキュリティのお話もありますので、その辺をどうするかというのはまだ考え中です。</p>
委員	<p>道路側にあるとなると、校舎の壁とその隣の開放入口のところが多分セキュリティラインになってくると思うのですけれども、あと、西の北側にあるマンホールトイレなどがある、予備P（パーキング）があるところの門というのが、そこに入って、北側からも校舎に入れる設計と読み取ってよろしいのでしょうか。</p>
設計事務所	<p>これは運用なので、今のところはマンホールトイレというところを駐輪場にしています。主に一般開放のときに使う方というのは、その北側、「空調機械」と書いてある部分の脇を通って、階段の上に三角マークが書いてあると思うのですけれども、そこからも入れるようにすることで、例えば大人数が来たときとかというのは、1か所だけではなくて、</p>

	<p>駐輪の方と徒歩の方を分けることというのもできるのかなど。</p> <p>その横に、もう1個門扉があると思うのですけれども、ここをクローズにしておけば、ずっとその一般の方が神社との脇を歩いてラーニング commonsの階段まで行けないようにするというので、一般開放のときとそうではないときというのは分けようかなと思っています。</p>
委員	<p>日中、鍵をかけておくとか、使用するとき閉まっているとか、いろいろ考えていると、どこを動線として使えるのかなということ、今のように入扉の中に入れてどの面でも校舎に入れる状態でなくて、外の校舎の壁がセキュリティラインになるとなかなか難しいなと思って、その辺の動線を伺いたかったので、ありがとうございます。</p> <p>まだその辺りはこれから変わる可能性もある。</p>
設計事務所	<p>基本的にはこの西側と南側については、校舎の壁がセキュリティラインになります。</p>
委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>どうしても防災のことになってしまうのは、そもそも学校は教育のための施設なので、区が学校に震災救援所を設定しています、震災は来るか来ないか分からないし、そのために何かをするというのはとても苦渋なので、これだけの委員さんがいても、防災のことを言えるというのは僕らしかないもので、言わせていただきます。</p> <p>改めて席を別にしてもいいかなと思っているぐらいに、教育の方に防災の話をして無理なのですよ。無理なので、それがちょっと前提にあります。</p> <p>学校整備課には、今の防災のときのシミュレーションのようなものをお渡ししていますので、こんなふうにするのだよということを、僕らも真剣にやっていますので、もし実際に地震が起きたときには、せつかく造るんだから、なるべく不便のないような形のものにしておきたい。ただ、それは教育を犠牲にするということではないので。</p> <p>体育館がどうしても地下ということで仕方がないねということになれば、それに対応するための何かが必要だねということで、大勢の人数の出入りが階段を使ってやることにとても不安を覚えます。あるいは、避難された方のお年寄りが、階段を上がって、このマンホールトイレも含めて出入りするのにもとても不安を感じるのですが、これ建物構造上やむを得なければ、どう対応するかと、どうすればいいのかというときに、スロープの図が多分お渡しされていると思うのですが、例えばスロープをなんとかする。</p>

	<p>この間、先生から 60 メートルは要るのだよという話も出ましたけれども、あるいは階段のステップを低くするとか、階段の幅を広くするとか、地下を前提として使いやすい震災救援所にするにはどうすればいいのかということも、この場では難しいので、別の機会に先生方も入れて考えていただきたいと思います。</p> <p>少なくともこういうスロープ案が出ていますので、それに対する簡単なお答えをしていただきたいと思います。</p>
進行役	<p>よろしくをお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>スロープ案については頂いておまして、それはもちろん営繕課及び設計事務所とは共有をして検討はさせていただきました。</p> <p>案の趣旨としては、北側のこの細いところというのですかね、ここに長いスロープを造れないのかというご提案を頂いたところです。</p> <p>長さとしては 60 から 70 メートルの長さを取らなければいけないというところで、スロープとはいえ、これだけの長い距離を押して運ぶというのは、まずここに造るということ自体がかなり難しいというところと、仮に造ったとしても、かなりぐると回っていかなければいけないという点を考えますと、いろいろご提案いただいたところなのですが、スロープを設けるとするのは難しいという判断でございます。</p> <p>これについて防災課とも様々協議をして話はしたところですが、半地下になったところでスロープ等を造っている学校もほかにもございませし、ソフト的な対応でいくしかないのではないのかというのが現在のところではあります。</p> <p>例えば重いものをどうやって運ぶのかというところですがけれども、例えば、図面には切れておりますけれども、防災用の外倉庫というのを設けておりますので、災害時にすぐに使うような、例えばそういった救助工具セットのようなものもかなり重いですし、例えば大型発電機なども上に最初から置いておくとかそういった、こういったものを上に置き、下の防災倉庫には何を置くというのは、震災救援所のメンバーの方や防災課を含めて協議をしていきたいという話を頂いているところがございます。</p> <p>そうしますと、どうしても食料等は地下の防災倉庫から、1回、1日分ですがけれども、上に上げるということにはなりますけれども、その辺りは救援所に避難されてきた方と協働していただいて、階段で運んでいただいて、廊下等は台車等を使って校庭等に持っていくとか、そういったことは考えられるのではないかとこのところでございます。</p>

	<p>それ以外に、エレベーターについては検討させていただくところ です。</p> <p>スロープについては以上になります。</p>
委員	<p>私なりに図面に書き込んでお送りしたのですが、建物ができてからスロープが欲しかったと言ってもできるものではないのですよね。ですから実際に今、皆さんよく考えていただいて、どうしたらいいかということをもうちょっと真剣に考えていただきたいと思います。70メートルのスロープとおっしゃっていますけれども、この地下の部分はほとんど何もありません。ですから、地下へある程度下りてしまえば、あと地下通路、できるはずなのです。実際に防災を運営している我々のことをもうちょっと真剣に考えていただきたいと思います。これならできないとか、あれだとかっていう、そういう問題ではないと思うのですよね。</p> <p>後ろの通路が狭いのは分かっているのですが、この図面ではここしか下りていくところがない。それで私、書き込みました。設計屋さんでしたらもうちょっとうまくできるかもしれませんので、ぜひ、もうちょっと考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>この場で議論するというのは、僕は無理だと思っていて、実際、災害が起きたときに動くのは町内会と住民なのです。防災課でもないし、ここにいらっしゃる先生方でもないのです。僕らずっと訓練をやってきて、いろいろなことを考えると、今考えないといけないよねと、そう思いました。</p>
委員	<p>また余計な話になると思いますが、僕は高円寺中で3.11のときに避難民を受け入れた側なのです。どこで避難された方を収容するかということを考えていたときに、体育館を使う、教室を使う。ところがこの、簡単には言うのだけれども、教室と教室ではなくて、校舎と校舎との間にある段差、いわゆるバリアフリーの部分がすごく大きいのです。</p> <p>人手を使ってやれば、車椅子をぐっと運び上げてしまえば行けなくはないのです。だけれども、あえて体育館は高い盛り土をしながらその上に乗っかっているようなところが多いのです。なぜかといったら、雨が降ってきて浸水して体育館の床が水浸しになったらアウトですからね。だから少し高いところにある。そうすると、わずか3段の段差であってもこれを乗り越えるのはえらい大変なのです。</p> <p>そのときに、スロープを造ったらどうだということを見せていただいたときに、これは単に防災の面での搬出入だけではなくて、避難をする側</p>

	<p>の方たちを楽に動かせる。</p> <p>それから、今は本校には車椅子を使わなければならない生徒はいませんが、絶対がないという保証はありません。それから今後、例えば近隣の学校との関わり合いの中で、そういうような体が不自由な子であるとか、そういったこととの関係というのも持つことは持つのです。それから、車椅子を使って登校しないといけない子も出ないという保証はありません。</p> <p>そんなこともひっくるめてくると、スロープというのは、いわゆる防災だけではなくて、バリアフリーの観点からも必要になっていくのではないかなと私は思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>どうでしょう。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>確かに生徒さんで車椅子の方が体育館を使用しているときに、発災したときどのように1階に行くのかというのは課題ではあるかとは思いますが。</p> <p>ただ、例えば救援所を運営するときにつきましては、今も救援所の部屋割り等を見させていただきますと、災害時要援護者の方は体育館ではなくて教室のスペース等を使って、その方たちはどこか教室に入っているというような、今、決めをされているかと思えます。</p> <p>例えば、今、この辺りも後で、決定した段階で救援所の方でお話を頂くことになると思うのですが、こういった1階の会議室であるとか進路指導室のような、そういった部屋をそういった災害時要援護者の方の部屋として、地下には移動はしていただかないというような運用の仕方もあるとは考えておりますので、その辺りはまた別途話ができればなと考えております。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>学校のサイドが避難された方をどこに収容するかというのは、実は避難所の運営委員会だけで決めているわけではないのです。学校には開放できる場所と開放できない場所があるのです。ですから、運営委員会の方たちと同時に、ここは開けられます、ここは開けられませんということをお話しするのです。</p> <p>ですが、避難の第一の流れからすると、体育館に収容しろというのは約束ではなかったですか。それが実際に学校はバリアフリーの状態ではないのですよ。だから一番安全なところをとるので、1階を開放するというのが本校の原則になったのです。</p>

	<p>もし原則に従っていくなれば、ここしか開けないですよ、ここしか。だって教学施設の中で避難の方が入られては困るのですよ。もちろん、ここの方たちだから大丈夫だという前提と皆様のご協力があるから運営できるということがあって1階を開けているだけの話で、今現在ですよ、本当は2階も開けなかったらならないような形で防災計画が立ち上がっているはずですよ。放送施設はこれ使ってくださいとかという形が出来上がっていると思うのです。</p> <p>だからその辺のところを全部ひっくるめてバリアフリーとかそういうところを考えていただかないといけないということなのです。器がある、それをどう使うかだけではなくて、どのように使うようにするために器をつくるかというところも考える時代になっている気がするのです。以上。</p>
委員	<p>初めからそのスロープを造らないというより考えていなかったと思うのです。ですから今、バリアフリー。この世の中で今、バリアフリーは大変大切なあれになっているのですよね。ですから、そういうことを最初から考えて設計していただくのが普通ではないかと思うのです。</p> <p>初めからもう造らないという、そういうお話で進めています。もうちょっと皆さんの意見を聞いて、もうちょっと考えましょうとか、そういうことにちょっとあれしていただきたいのですよね。できないことはないと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>防災に関しては今ある皆さんからお聞かせいただいたようにバリアフリーの観点というのは大変重要だと思っています。</p> <p>運用の中でやれることと、なかなか厳しいことがあると思うので、今、スロープに関して少し案を出していただいているということもあります。どういう形がいいのかどうかというのも、スロープもどういった形状がいいのかだとか、様々そういったこともあると思いますし、あと、エレベーターはつけますけれども、そのエレベーターも、今、停電でも使えるような形で何とかやっていきたいなと思っています。</p> <p>そういった中で、バリアフリーのやり方というのも複数あると思いますから、その辺は少しおっしゃったように、少し地域で防災に関わっている皆さんからのご意見も改めてまた聞いてみたいなと思っています。</p> <p>スロープの在り方についても、もしスロープをやるとすればどういった形ならできるのかだとか、そういったこともぜひ少しお聞かせいただければなと思いました。</p>
委員	<p>エレベーターがあるからいいという、そういう考え方ですと、電気が</p>

	<p>来ないとか、そういう場合はエレベーターが動かないわけなのですよね。ですから、そういうときのことを考えて、我々はぜひお願いしたい。だから必ず正常に使えるとは限っていないのですよ。</p>
学校整備担当 部長	<p>エレベーターも、今、通常の電力のほかにバッテリーで動く形の、エレベーターの電源が取れるような、そういった仕組みを取っている震災救援所もありますから、そういったことも当然入れていきたいと思いますが、発災直後にエレベーターが動くかどうか分かりませんから、そういった視点からすると、それを補完するようなやり方が確かに必要であること、これはもう理解をしていますので、そういったことも含めて、ぜひ地域の方々から防災という観点で少しまたお話をもらいたいなと思っています。</p>
委員	<p>ぜひ、そのエレベーター、バッテリーではいつまでもあるわけではないのですよね。ある程度使えばバッテリーもなくなって、電源が来なければ動かなくなる。そここのところを考えていただきたいと思います。</p> <p>これで決めているからそれは無理だとか、駄目だという、そういう考えでなくて、もうちょっと真剣に考えていただきたいと思います。</p>
学校整備担当 課長	<p>ちょっと補足させていただきたいのですけれども、学校も法律でバリアフリー法の対象になっていて、バリアフリーのトイレだとか、段差解消のまさにスロープ。ただ、この段差解消のスロープというのは、通常、地上面から少し床が上がっていたり床が下がっていたりというところを大体スロープで結ぶわけですけれども、階をまたいでスロープをつけるというのは、まず通常の施設ではなくて、そこは階をまたぐようなものはエレベーターでそこをバリアフリーにするということなのです。</p> <p>今回、体育館は、半地下とは言っていますけれども、図面にもあるとおりマイナス 4.5 メートルですよね。だから普通の部屋で言うと丸々地下に埋まっている位置の床なのです。</p> <p>そういう階と地上とをスロープで結ぶ。あるいは学校によっては、どうしても 1 階部分にうまく収まらなくて 2 階に体育館を設けるケースもありますけれども、そうすると 2 階と 1 階をスロープで結ぶということは、杉並区のような校地の狭いところでは難しく、そこは機械に頼る、エレベーターに頼るというのが手法なので、バリアフリーを考えていないわけではなくて、考えた上でこういうエレベーターの対応。</p> <p>そこはバッテリーだったり、非常用発電といって燃料を補給すれば長時間エレベーターが使えると。そうは言っても、発災直後はエレベーターも止まりますので、専門の人にエレベーターの安全運航が可能かどうか</p>

	<p>かを見てもらった上でそれを解除しないと動かないという現実もそれはあるのですけれども。</p> <p>そういうことで、バリアフリーを考えていないわけではなくて、バリアフリーも考えた上で、当然、法律にも合うような形で対応していると、そこはご理解いただきたいなと思っています。</p>
委員	<p>さっきやっこの図面にレベルをいれていただいたのです。</p> <p>なぜこれ縮尺を入れていただけないのですかね。この前もお願いしました。縮尺を入れていただければ、この図面を見ればどのぐらいの寸法かというのがすぐ分かるのです。どうして縮尺を入れていただけないのでしょうかね。</p> <p>4.5メートル、10分の1勾配でいけば45メートルぐらいで、そんななだらかではないのですけれども、できるはずなのですよね。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>外のスロープを造る場合は、確か20分の1で取らなければいけないので、倍ですね。</p>
委員	<p>20分の1だったら90メートルということですか。そんな規定があるのですか。そんな規定があるとは知りませんからね。でも、10分の1勾配でもあれば皆さん、大変バリアフリーになると思うのですよ。</p>
営繕課施設整備担当課長	<p>外部に設けるスロープですと、雨が降ったときの転倒、滑りやすくなりますので、そういったことも加味されて、バリアフリーの基準では20分の1となっています。</p> <p>実際に私も車椅子の使用者の方に聞くと、20分の1ぐらいでないと腕力だけで上がっていくのはかなり難しいと言われます。10分の1や8分の1だと、かなり腕力のある車椅子の使用者でないと難しいと考えられます。ちょっとの距離であれば可能かとは思いますが、先ほど言った数十メートルを上っていくにはかなり難しいだろうということですので、屋外に設けて、かつ車椅子の人が使って、雨が降っても滑らないようなスロープを造るとなると20分の1というのがバリアフリー法や関連条例で定まったスロープになります。</p>
委員	<p>室内で、雨が降るわけないではないですか。</p>
営繕課施設整備担当課長	<p>室内であれば可能ですけれども、今回図面でお示ししている建物の外壁の範囲については今の図のとおりになりますので、体育館の地下から外を通過してスロープで入っていくとなると20分の1となります。</p>
委員	<p>当然私の考えでは、外の部分は屋根をかけるとか、そういう対応を考えて……。</p>
委員	<p>すみません。我々どこのことを言っているのか、どこの場所のスロー</p>

	プか、全然我々分からないのです。
進行役	すいません。少し、説明してください。
委員	この件、アリーナが地下化になりまして、そこに震災救援所ができますので、そこにバリアフリーでないと避難者の問題が出てくるという議論をしていたのですが、ここでは議論しきれないので、別の機会にまたやりたいと思いますので、その了解だけ頂きたいと思います。よろしいですか。
進行役	どうでしょうか、今のご提案。
委員	この状態のまま何を言っても、僕らとしてもなかなか難しいので、代案があるかないかも含めて、先生も含めてお考えいただきたいと思いますので、この場でやっていると皆さん、決めきれないので。
学校整備担当 部長	ご提案、了解しました。専門的に、特に地域で防災に関わっている方々からのご意見を賜りたい。 また一方で、今、私どもの課長が申し上げたように、法律だとかそういった規制もありますから、そういった中でどういった対応が取れるのかということについては、また別途お話を聞きたいと思います。ありがとうございます。
設計事務所	今言われていたのは、ここの神社と校舎の間にスロープを造って、ここの地下の防災倉庫のところまで行けないかというご意見を頂いております。
進行役	防災の件に関しては、今の部長の発言で、お二人ともよろしいでしょうか。
委員	取りあえず、今日はこれで終わります。
進行役	ほかはいかがでしょうか。 よろしいですか。平面図に関していかがでしょうか。 先ほど説明がありましたけれども大丈夫ですか。 平面図に関してはよろしいでしょうか。 それでは、防災に関しては、また今の部長の発言どおりで検討していただくということで、よろしくお願ひします。 それでは、平面図に関して、人数の動向とかいろいろ説明があつて、変更の説明もありましたけれども、今日の意見を踏まえて、次回、最終案ということで提出をお願いできればと思います。よろしいでしょうか。 それではお願いいたします。 それでは、次第4の「改築基本設計まとめ案・工事工程について」、

	事務局から説明してください。
教育施設計画 推進担当係長	<p>この青い資料3を御覧ください。これは今までの議論をまとめたものになりますので、一つ一つ丁寧に説明ということではないのですが、最終的にはこれをまとめとして配付したいと考えております。</p> <p>1枚めくっていただいて、目次がありまして、3ページです。</p> <p>まず基礎的条件として、改築に至る経緯。開校してからのこと、建物についてのことが書いてあります。また、令和3年度に杉並区の実行計画によって改築事業が計画化され、今年度、懇談会が始まったということに記載しております。</p> <p>1枚めくっていただいて、4ページで、敷地の概要、用途地区ということで、神明中学校は第一種低層住居専用地域等々が記載してございます。</p> <p>5ページ目は敷地の概要で周辺環境ということで、緑豊かな神社が隣接しているということと、その一方で、校地が不整形で改築に当たっては工夫が必要ということ。</p> <p>道路ですが、南側の区道は4.55と、ややほかの三方に比べると狭いということが確認できます。</p> <p>6ページ目に行っていただきまして、既存施設の概要ということで、各体育館や教室棟、管理教室棟、プール等の築年数の記載がございます。</p> <p>7ページが、今回出させていただきました生徒数、学級数の推移と、将来推計について記載させていただいております。</p> <p>1枚めくっていただきまして、8ページで、こちらの改築基本方針の全体像をまとめたものです。3つのビジョンと7つの目的等を記載してございます。</p> <p>9ページになりまして、ここから校舎配置案の検討ということで、事務局からI型・L型のそれぞれプールあり・なしの4案を提案させていただきまして、LとIについて議論いただき、プールの整備については後ほど議論するという流れで進めさせていただきました。</p> <p>10ページは、A3の資料になりまして、皆さんにお配りしたものはプールあり・なしの4案のものでしたが、今回、LとI、プールありとなしで大きな特徴の違いはなかったので、こちら、L・Iのプールありのものを記載してございます。</p> <p>1枚めくっていただきまして、11ページで、ここから皆様のご意見等を記載しております。</p> <p>I型については「工事中に新旧体育館を使えて、運動できる場所が確</p>

保できる点が良い」など、メリット・デメリットを記載させていただき、L型についてもそれぞれメリット等を記載しております。

共通の内容として、校庭をできるだけ広く確保してほしいという共通のご意見があったかと思えます。

区の所見といたしまして、周辺住環境への配慮が必要だということと、神社が隣接している特徴を生かし、周辺環境と調和した校舎の計画が望ましいと考えています等々記載してございます。

最終的には皆様のご意見を踏まえましてL型の校舎配置を目指すという記載をしてございます。ただ、校庭の面積の確保や地域活動、コストに関する意見もございましたので、これらを十分に踏まえて今後検討を進めていくことといたします。

めくっていただいて、12 ページ以降はプール整備についてでございます。こちらは様々、あり・なしのメリット・デメリットやご意見等々を頂いたところなのですが、14 ページに行っていたきまして、最終的には教育委員会から、教科担任制である中学校では時間割の調整がなかなか難しく、長期的に現行の水泳授業の水準を維持していくというのは外部施設では難しいということから、プールを整備することをお伝えさせていただいたところではございます。

15 ページ、ここは少しご説明させていただきます。想定の間整備スケジュールでございます。

4年度、今年度、基本設計がありまして、5年度、実施設計というのは、これを踏まえて詳細なものを作成してまいります。

現在の計画では、仮設校舎を5年度の1月から着手を予定しております。この時期から校庭が使えなくなる予定です。

仮設校舎はおおむね順調に行けば7月頃にできまして、使用は2学期からを予定しております。

既存校舎は6年度の1学期まで使いまして、2学期に入りまして仮設校舎ができてから解体。おおむね令和7年度の5月ぐらいに解体が終了する予定でございます。

解体が終わりましたら建設工事に入りまして、9年度の12月頃竣工予定で、実際には1月から新しい校舎と体育館が使える予定になっております。

10年度からグラウンドの工事が始まりまして、同じく校庭の使用は3学期頃から使用を予定しているところではございます。

最後16ページは、これまでの検討経過と皆様の名前等を記載してご

	<p>ざいます。</p> <p>資料3については以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>何かご意見、ご質問はございますか。どうぞ。</p>
委員	<p>地元の町内会なものですから、大きな建屋ができると、当然周りの住民からいろいろな話が出てくることは、マンション建設も含めてこれはいっぱい出てくる話なのですね。なので、どういう形で周りに説明をするかというのはとても考えているのです。どの段階で話せばいいのか。</p> <p>もちろん建設の話を区役所の方もされるでしょうし、いずれ業者が決まれば業者がやると思うのですが、必ず問題が起きると思っていて、町内会は真ん中に入りたくない。かと言って、何もしないというのも駄目なので、そこのところ、上手なやり方で、話し過ぎてもいけないし、話さないのもいけないしという、その苦しい立場が町内会はあるということをご理解いただいた上で、伝達の仕方をご相談させていただきたいと思います。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>この後、事務連絡でお話ししようかと思っていたのですが、今ご質問いただきましたので、改築ニュースの3号を御覧ください。</p> <p>まず改築ニュースの3号につきましては、近隣の学校ですとか、あと町内会の方へ郵送し、あと、今日終わったあと、近隣敷地境界から大体50メートル前後のお家にはポスティングをさせていただく予定です。</p> <p>一番下のところ、今回の基本設計の案まとめの説明会ということで、近隣の住民向けには来週の1月31日火曜日、保護者向けの説明会では2月2日に行く予定です。内容は同じなのですが、お聞きになりたいことが違ったりしますので、丁寧に対応するという事で2回に分けてやらせていただいています。まずこれで、今の案について、おおむねまとまってはいますが、ご意見を頂く予定です。</p> <p>あと、こちらのまとめ案の想定スケジュールを見ながら言いますと、一般的には、この基本設計がまとまりますと、一度近隣の方にご説明をすることになります。まだ分からないですが、おおむね6月とかそれ前後に一度ご説明させていただきます。</p> <p>また、今回の高さの許可を取る必要もありますので、そういった高さの許可や、あと中高層といった条例等に基づく説明会は令和5年度中にやらせていただくことになります。また仮設校舎等を建設する際も、事前にそういった説明会は実施いたします。</p> <p>あと、当然解体工事が始まる時や、建設工事が始まる時について</p>

	<p>は、併せて説明会を行わせていただいております。</p> <p>ただ、最後のグラウンドの工事については行うかどうかはまだ分かりませんので、今の予定としては説明会をそのぐらいの回数では行う予定です。</p> <p>また、適宜そういったニュースについては、こういったものを発行して近隣の方等にはご案内させていただいておりますので、神明中学校の改築でも同様にさせていただく予定です。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>よろしいでしょうか。大丈夫ですか。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>それでは、ありがとうございます。</p> <p>懇談会もあと1回となりましたけれども、学識経験者の方からご意見をいただければと存じます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>本日も寒い中、大変熱心な議論をありがとうございました。</p> <p>冒頭は、学級規模の見直しということで、これまで12学級ということで検討していたのだけれども、10学級規模でという話がありました。新しいデータに基づいて今後の生徒数を検討した結果これが妥当だろうというお話で、なるほどそうなのかなとも思いましたけれども、一方で学級数を決める定数、生徒数、40人学級、35人学級ということになりますけれども、その辺が今後どう推移していくのかということで、例えば東京都は中学校1年だけ35人ということで、あとは40人ということでやっていますけれども、これが2年、3年に拡大するかもしれないし、国で35人学級制度ということで一挙に進んで、そうなったときに教室は大丈夫なのかというご意見がありました。</p> <p>それから、今、学校はいろいろ新しい形の授業というか、教育活動というか、そういうものが進められていますので、それに対応できるだけの教室数といいたいでしょうか、部屋の数、その辺の関係でどうなのかというご意見もありました。</p> <p>35人学級は現場の先生からするとありがたいと思いますけれども、実現はなかなか厳しいのがあるのかなという気もします。と言いますのは、35人学級になると教員の数がすごく必要になってくるのですけれども、今その教員の数が確保できなくて、文科省は大変苦勞している状況があるのです。</p> <p>そういうことを考えると35人学級制度が来るのはもっともっと先な</p>

	<p>のかなという気もするわけですが、そういうことも併せて考えておく必要があるということを見ると、3階の教室フロアの屋上緑化になったところ、前は教室だった部分ですが、この辺は教室として活用できないのかというご意見があったかと思います。</p> <p>できることなら、いろいろなことを考えると教室として確保できればいいと思うのですが、その辺が、第一義的には予算との関係が出てくるでしょうし、あるいは適正学級規模に設定した場合の杉並の基準等が、その辺の学級数との関係に大きな縛りが出てくるのか、その辺のところはよく分からないところはあるのですが、可能ならば教室として使えるようなもの、あるいは教室の大きさまではなくても、多目的に何か使える部屋みたいなものが1つでもあれば、学校の教育活動を充実させるという点ではいいのではないかと感じました。</p> <p>それから教室配置の件で、同じく3階の神明宮に面した教室を2階に持ってきて理科室等を入れ替えたかどうかというご意見だったのでしようか。</p> <p>私も長く学校に勤めていましたけれども、学校の運営上、管理上からすると、1フロア1学年というのでしょうか、そういうのがやりやすい、対応しやすいという感覚はあるのですが、今新しい形の授業みたいなことも言われていますし、その辺をどう考えるかということにもなるとお思いますので、この辺は、今現在、神明中の先生方はどうお考えになっているのか、その辺を十分聞いた上で、よりいい方法を選ぶことができるかのかなと思いました。</p> <p>それから防災倉庫に関わる件です。おっしゃられましたように、体育館が半地下になるということに伴って、この防災倉庫の運営の、あるいは管理の難しさというのが出てきているのかなと思います。それぞれ担当される方のご意見、もっともだなど思いながら聞いていましたけれども、先ほどまた別の機会の中でその辺に対する対応を十分検討していこうという話になったかと思しますので、ぜひ引き続いて丁寧な議論を重ねていただければありがたいなと思いました。</p> <p>私からは以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、お願いいたします。</p>
委員	<p>生徒数の変化を予測しながら、これはかなり説得力のあるグラフだと思えます。それに基づいて教室の数を12から10にというご提案、これもある論理があるわけですが、いろいろなご意見が出た中で、多</p>

目的室とかいろいろな、従来の教室だけではないところでの活動とか居場所とか、そういう要素も非常に重要であるというご指摘もいろいろな方がおっしゃったことを鑑みると、一回教室として場所を確保したところを削ってしまうというのも何かちょっともったいないような気がするので、そこをもっと積極的に使うような、学校の先生あるいは子どもたちの自発的な活動が誘発されるような、そんなことがもしあり得るのであれば、屋上緑化で緑にしてしまったところも何か部屋として復活させるということもあるのかなという気がちょっと残ります。

ただ、これは自発性とか、皆さんのお考えなので。ただ、先生方のご意見も聞いてみたいなという気がします。教育担当の行政からすれば、教育委員会も含めて、できるだけ無駄なコストは削減してコンパクトにやっていきたいという気持ちは非常によく分かるので、その辺はお立場を越えた何かやり取りがもう少し本当はあって決まっていくといいなと思うのですけれども、しかしもう決めなくてはいけないという切羽詰まった時期になっているので、その辺はいろいろ相談して最後決めていただきたいと思います。

いずれにしても、本当はゆとりのある空間があって、それは理想を言っただけで切りがないわけだけでも、できる範囲で、そこを上手にうまく使っていくという、そういう前向きの議論が必要で、そのためには、例えばエントランスから入って、図書コーナーがあって、踊り場があって、階段があって、神明宮の緑が入ってくるとか、今回新しく提案されたさくら広場とか、そういうところが人と人、あるいは人と地域をつなぐ、あるいは先生と子どもたちをつなぐ非常に重要な場になるだろうなと思います。

教室を学年ごとに分けたほうがいいというご提案も1つ筋があるのかもしれないけれども、設計事務所さんが考えられた「学年ユニット」という考え方は、私には非常に魅力的に見えます。3階の上と下で、オレンジの濃いやつと薄いやつで分けて、パーテーションで分かれるので、ここで変に混ざることではない。

ただ、奥の動線がぐっと回り込まないといけないという難点があるというご指摘もありましたけれども、廊下を広く取っているので非常にいろいろな活動が誘発されて、コミュニケーションの場になり、居場所にもなるかなという気がしますので、これに関しては今の配置でいいのではないかなと思いましたし、そういうご意見も多かったと思います。

それから、防災の点が大変、半地下になってしまったために体育館に

	<p>悩ましい問題が派生してしまったわけですがけれども、この辺も、確かに階を越えたスロープというのはあまり私も見ていないし、そこまでやるのはなかなか難しいかもしれないけれども、まだ工夫の余地があるかもしれない。スロープを大切にしたいという気持ちは本当によく分かりますので、その辺はまた地域の専門的に詳しい方々、そして担当の方々の間で、あるいは設計事務所の間で十分意見を交換して、納得のいくところに収めていただきたいと思います。</p> <p>いずれにしても、今回、こういう会に参加させてもらって、皆さんが非常に丁寧に、ちゃんと真剣に、使い方、配置の是非とか、すごく防災の点に関してもものすごく見識を持って議論されていることを、大変印象深く受け止めました。本当に素晴らしいなと思いました。いい学校づくりが本当に行われていくのではないかと期待しています。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局から連絡事項をお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>寒い中、ご議論ありがとうございました。</p> <p>事務局から1点、次回の懇談会なのですがけれども、前回もお知らせしましたが、第9回懇談会、3月24日金曜日の午後2時から神明中の体育館で開催いたします。</p> <p>以上です。次回、最終回になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>それでは最後に学校整備担当部長から挨拶をお願いします。</p>
学校整備担当 部長	<p>皆さん、本日は大変お寒い中、長時間にわたりありがとうございます。</p> <p>本当に様々な有益なご意見を各分野から頂いたなど。ただ、それをしっかり行政側がまだまだ受け止めきれていないな、そういう反省しきりでございます。</p> <p>何としてでもこの改築を、この神明中だけではなく、いろいろなところでこれからも進めていかなければならない。ただ、それを持続可能にやっていかなければならないということで、改築基本方針として本日お示したこの冊子の中でも、いろいろな目標あるいは取り組みを立ててやっていき、私も役所でこの仕事をやる中で、迷うとこの目標、取組を見直して、皆様方からこういった声を頂いたな、これを大切にしなければいけないという思い、これに駆られるわけでございます。</p> <p>ただ一方で、やれることとやれないことがある。この辺はしっかりと</p>

	<p>話をして、皆さんと、夢だけではなくて課題も共有したいということ胸に秘めて今日も寒い中参りました。</p> <p>全てが、これもできます、あれもできますという、そういうお答えではなくて本当に申し訳ないですけども、そういった中で一つ一つ工夫をして、地域の皆さんに認めてもらえるような、そういった学校づくりをこれからもしていきたいと思っています。</p> <p>防災のところ、大変様々なご意見を頂きました。特に学校は防災の拠点でもありますから、丁寧にやっていかなければならない。ただ、これもやれることとやれないことがありますので、様々な法律ですとか、そういった手法も含めて、皆さんからもご意見を頂き、また私どもの防災のセクションともやり取りをしながら、いい取組ができればと思っています。</p> <p>それと、地域の方々にこの学校はどうなるのかということの説明、これをしっかりやってもらいたい。先ほど係長からも、様々な説明の種類につきまして、まずは1月下旬からやり始めますけれども、皆さんが不安にならないように「いい学校ができるんだな」「神明中よくなるんだな」ということが分かるような、そういうご説明をし、またそこからも様々なご意見を頂きたいと思ってございます。</p> <p>本日は長時間にわたりありがとうございました。私からは以上です。</p>
進行役	それでは本日はこれで閉会いたします。ありがとうございました。